

東久留米市

2024

向山緑地若返り事業シンポジウム

森林環境譲与税を活用し、2019年度から2023年度までの5年間に水源の森・向山緑地の若返り事業として、樹林地や雑木林の老木化した樹木の剪定、伐採によって再生を目指した取り組みを振り返り、今後について考えます。

日時：2024(令和6)年8月24日(土)

開場 9:30 /開演 10:00

会場：東久留米市役所 1 階市民プラザホール・屋内ひろば

プログラム

講演会/屋内展示/現地見学

■講演1

『向山緑地の歴史、向山緑地を利用した人々の沿革』

奈良 忠寿 氏

自由学園最高学部（大学部） 准教授
東久留米市文化財保護審議会委員
専門：日本考古学



■講演2

『「向山緑地若返り事業」からみる

水源林の価値と支払い』

蔵治 光一郎 氏

東京大学大学院農学生命科学研究科教授
東京大学附属演習林企画部長
専門：森林水文学、森と水と人の関係

■報告 「東久留米市環境政策課」、「向山緑地・立野川勉強会」、「自由学園 最高学部」

主催：東久留米市

共催：(学)自由学園、向山緑地・立野川勉強会、東京大学附属田無演習林、多摩六都科学館

協力：東久留米自然ふれあいボランティア、NPO 法人東久留米の水と景観を守る会、NPO 法人南沢シュタイナー子ども園、南沢水辺公園のなかまたち、東久留米水辺の生きもの研究会、東久留米の井戸水位を調べる会、東久留米市市民環境会議水とみどり部会、東久留米市市民環境会議環境学習部会、清瀬の自然を守る会、西東京の自然を見つめる会、西東京西原自然公園を守る会、関東水と緑のネットワーク

■この5年間での向山緑地公園の変化



2019（令和元）年

2019年には森林の衰えが目立つようになったため、森林環境譲与税を活用した「向山緑地若返り事業」が実施されました。

5年間で55本の樹木剪定と110本の樹木伐採を行ったことで緑地の若返りが進みました。



2024（令和6）年

■パネル展示 / 屋内ひろば(9:30~15:00)

向山緑地・立野川勉強会や関係団体による展示(15団体を予定)

■現地見学 / 向山緑地(13:30~15:00)

蔵治光一郎氏、奈良忠寿氏同行。

「向山緑地若返り事業」の施業の実際を見学し、今後について考えます。

向山緑地公園へは各自移動、現地解散。(車での来場はご遠慮ください。)

